

1927

知事等ノ討論ノ不始ナリト又一面課來波ムノ味ナリト又一面  
 早ニカクハ常期地ニ歸回思ハル官業労働、諸別聯合等ニ就テハ  
 既實派ノ論ヲ聞き一説ハ地ニスルハ之ニ比シテハハナシトスル  
 ヲム共済主義ニ立論ノ辯論ヲ聞き一説ハ地ニスルハ之ニ比シテハ  
 既實派ノ論ヲ聞き一説ハ地ニスルハ之ニ比シテハハナシトスル  
 無著如黨派論議會ハ第一回聯合討論會前ノ河津博

労働組合  
 労働組合  
 労働組合

藤澤浩長 森田 第一 瀬野

大國支河長外郎 共 許 幸

大五十四年十一月廿一日

ハ粉塵ノ掩埋物等ハモテ敏ナル幹部集合セル日本労働組合評議  
 會ニ於テハ將來待遇ヲ固守セズトノ態度ヲ示シ庶務小岩井淨ノ奔  
 走ニ依リ漸クニシテ現實派各組合ノ諒解ヲ得第二回調領規約調査  
 委員會ノ開催計ナリ兎モ角其調領規約ノ殆ンドヲ決定シ愈々十一  
 月廿九日最後ノ調領規約調査委員會ヲ開キ同日第二回準備委員  
 會十二月一日結黨式ヲ舉行スルノ運びニ到達シタルガ最近更ニ總  
 同盟ヲ中心トスル各自由主義的團體ハ政治研究會ノ資格問題ヨリ  
 日本労働組合評議會及ビ全國水平社無産者同盟等ノ理想派團體ト  
 行動ヲ共ニスルヲ希望シトセズ寄々對策ヲ協議セル向モ渺カラザル  
 ガ各種狀況ヲ綜合スルニ總同盟大阪聯合會、日本労働組合聯合、  
 官業労働、向上會、日本農民組合杉山元治郎等ハ政治研究會ノ資  
 格ヲ認メシカ共産統系ノ各組合ハ二重三重ニ資格ヲ取得シ其主義  
 主張ノ貫徹ヲ計ラントシ雖テハ各右翼團體ニモ侵入シテ全無産政  
 黨員ヲ其勢力範圍ニ入レントスルモノナルヲ以テ此際速カニ對策